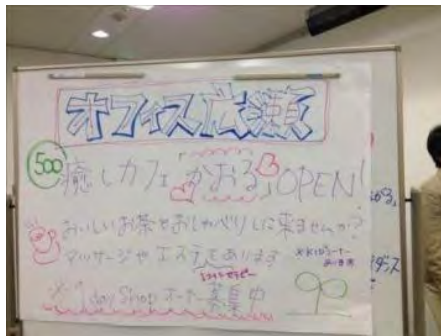


## ●グループ発表

6つのグループがそれぞれ15秒の商業メッセージを考え、模造紙に書き出したものを発表しました。15秒という短い時間の中でポイントを絞ったメッセージが伝えられました。ワークショップ開始時にすでにつけられていたグループ名を模擬会社名に使ったグループもあれば、新たに考案したグループもありました。

### <グループ広瀬>

『オフィス広瀬』です。ワンコインの癒しカフェ「かおる」をオープンします。美味しいお茶とおしゃべりをしに来ませんか？ マッサージやエステもあります。1デイ・ショップのオーナーを募集中です。」



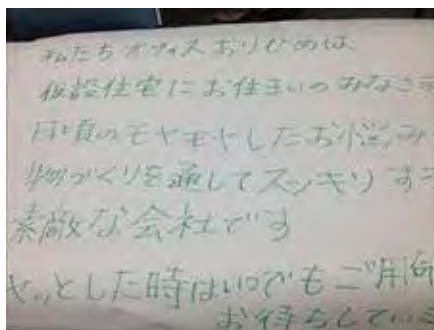
### <グループずんだ>

「私たち『ずんだオフィス』は被災地の女性の自立を支援するために、一人ひとりの特技をかたちにする素敵な会社です。自分でも何かできる！と思ったとき、いつでも御連絡ください。お待ちしております！」



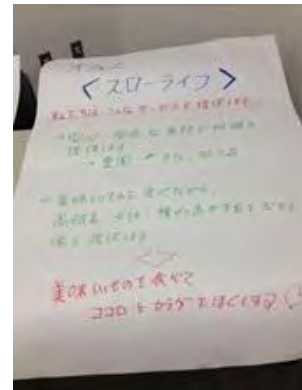
### <グループ七夕>

「私たち『オフィスおりひめ』は、仮設住宅にお住まいの皆さまの日頃のモヤモヤしたお悩みを、物づくりを通してスッキリする素敵な会社です。モヤッとしたときはいつでも御用命ください。お待ちしております！」



<グループ笹かま>

『オフィス・スローライフ』です。私たちは宮城が大好きという共通点を持っていて、宮城の安心・安全な食材と料理を提供する農園、カフェ…」(残念ながら、ここで15秒の持ち時間が過ぎ、タイムアップ。コマーシャルはここまでとなってしまいました。続きは写真で。)

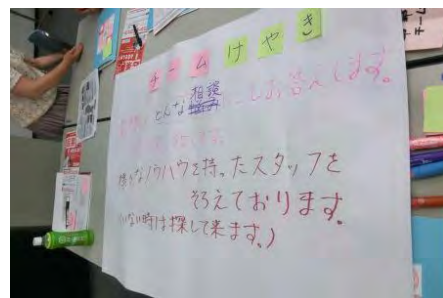


<グループ青葉>

「私たち『オフィス tumugi』は、女性の皆様の結婚、出産、子育てのお悩みを解決します。出会いを生む、子供を産む、食をはぐくむ、カフェ tumugi でお待ちしています！」

<グループけやき>

「私たち『チームけやき』は、皆様のどんな相談にもお応えする人材派遣をいたします。様々なノウハウを持ったスタッフをそろえております。いないときは探してきます。よろしくお願いいたします。」



## ◆内閣府「復興支援型地域社会雇用創造事業」ガイドンス

<復興支援型地域社会雇用創造事業とは>

被災地における起業と雇用を創造するため、社会的課題を解決するための新規性のある事業を行う「社会的企業」の起業や「社会的企業」を担う人材の育成を支援するもの。

説明：大河原文晴（内閣府政策統括官（経済財政運営担当）付参事官（産業・雇用担当）付）

<http://fukkou.chiikisyakai-koyou.jp/>

事業者説明：

- (1) 特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク

社会的企業の支援を通し、これからの石巻を担う女性、若者を育成

<http://fukkou.chiikisyakai-koyou.jp/group/ishinomaki/>

- (2) 特定非営利活動法人 20 世紀アーカイブ仙台

文化による復興・イノベーションを目指す起業家や担い手を育成

<http://fukkou.chiikisyakai-koyou.jp/group/20thcas/>

- (3) 公益社団法人日本サードセクター経営者協会

生活の安心と雇用を生み出す社会的企業（特に福祉分野（高齢者・障害者・子育て））を応援

<http://fukkou.chiikisyakai-koyou.jp/group/jacevo/>

- (4) 一般社団法人H I T

まちづくり、地域福祉、農水産林業、環境エネルギーなど多様なテーマで起業する人を応援

<http://fukkou.chiikisyakai-koyou.jp/group/hit-north/>

まず、内閣府の産業・雇用担当より事業の概要について説明があり、続いて4つの事業者からそれぞれの団体が行っている内容について、特に女性の起業・就業支援への取組について熱いメッセージが述べられました（各事業者の取組内容については、WEBのリンク先を御参照ください）。



### ◆質問・相談・交流タイム

ひととおり事業者説明が終わったところで、6つのテーブルにファシリテーターの足立さん、4事業者の皆さん、内閣府の事業担当がそれぞれ分かれて座り、参加者は各自が興味を持ったテーブルに移動し、時間いっぱいまで、熱心に質問や相談がなされていました。



### ◆参加者アンケート

参加者 18 人からアンケートに御協力いただきました。仙台市内から参加された方がほとんどでしたが、郡山市、さいたま市からの参加もありました。

#### <参加動機>

- ・自分が普段考えているアイデアや問題意識をどう仕事として膨らませていくのか勉強したかったから。
- ・仕事につきたい。仕事を探しているのです。
- ・外に出て仕事はしたいが、なかなか時間的なものや、やりたい仕事が見つからなかったため。
- ・社会的企業への就職、ひいては起業を志していたので。
- ・復興に向けて自分がどう関わるべきか考えており、「自分で仕事をつくる」という道に興味を持ったため。

<ワークショップで得たもの・気づいたこと>

- ・いろいろな人の話を聞くことができ、自分の考え、想いを再確認することができた。
- ・人それぞれに得意なこと、やりたいこと、困っていることはあるが、それらを何人かで共有することで、「こんなふうなことができる？」など、知恵を集めることができるということがわかった。仲間をつくることが大切。
- ・きっかけは人の役に立ちたい、助けたいだけれど、そこをどう収益にしていけばいいのか、継続する仕組みが必要ということがわかった。

<復興支援型地域社会雇用創造事業のガイダンスで得たもの・気づいたこと>

- ・起業のハードルは思ったより高くないということ。
- ・情報を得る・探す、ということが、まず大切だと思いました。
- ・自分自身の経験などを生かし、ぜひビジネスプランコンペに参加したいと思いました。

<セミナーを通じて印象に残ったこと、御意見・御感想>

- ・素晴らしい方々とつながることができました。
- ・もやもやしているものがあるとき、相談に乗ってくれるところや人はいる。外に出ていかなければ！！と思いました。
- ・仙台以外でも開催してほしい。